キャラクター名: 胡桃沢 苑(こもざわ　えん)

プレイヤー名:

シンドローム	エンジェルハィロゥ エンジェルハィロゥ	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	16歳	性別	カワイイけど男
覚醒	渇望	衝動	殺戮	初期侵食率	35 %
出自	資産家	経験	トラウマ	邂逅	友人：世良 縁

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	6	0	0			6
精神	2	0	0			2
社会	0	0	1			1

HP	24
行動値	14
(非装備時)	14
戦闘移動	19
全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	5		ＲＣ	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報： 噂話	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
光の銃	射撃	6r+5		3		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
光使い-ライトブリンガー	P	N		
世良 縁	P 好意	N 嫉妬		
???	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
----------	P	N		

最大財産P: 2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
光の銃	1	2	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	自動	-	
効果：	射撃武器作成、装備(データ下記)							
光芒の疾走	2	1	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：	戦闘移動を行う。離脱可能他エンゲージに接触しても移動終了無し、封鎖の影響も受けない。1シーンLv.回 1/1							
CR：エンジェルハイロゥ	3	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	-	-	
効果：	C値を-Lv(下限7)							
小さな塵	3	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	対決	-	
効果：	攻撃力+[Lv*2]							
レーザーファン	3	3	ﾒｼﾞｬｰ	-	範囲(選択)	対決	-	
効果：	攻撃を範囲(選択)に変更。同エンゲージ選択不可 1シナリオLv回 2/2							
滅びの光	5	3	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	対決	-	
効果：	攻撃力+[Lv*3]ただし[対象：単体]だと適応出来ない。							
マスヴィジョン	5	4	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	対決	100↑	
効果：	攻撃力を+[Lv*5] 3回 3/3							
光の指先	3	2	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ	-	-	-	Dﾛｲｽ	
効果：	判定のﾀﾞｲｽ+[Lv+2]個							
スポットライト	★							
効果：	任意の場所に光源を設置する。音楽はセルフ							
ウサギの耳	★							
効果：	聴覚の指向性を高める。雑踏の中でも遠く離れた人物のささやき声を聞くことが可能。							
効果：								
効果：								
効果：								

このご時世珍しくかなりの参拝客で賑わう神社、その神主の跡取り息子として産まれたいわゆる「男の娘」
普段人前では優しい父親だったが身内には厳しく独裁的な父に後を継ぐ為にと時に暴力を振るわれながら厳しく徹底的に育てられてきた。
もともと「カワイイ」ものに惹かれる傾向はあった。初めは幼少の頃、神社の巫女服や幼稚園の女の子の服、絵本に出てくるお姫様、妖精、天使、カワイイクマのぬいぐるみやお人形、そんな物に惹かれていた。
だがもちろんそんなものに目移りなど許されない環境でカワイイもの所かゲームやサッカー、野球などの遊びはおろか特定の友人を作ることも許されない環境にあった。
勿論そんな父親、好きなはずはなく家の跡を継ぐ気も更々ない。
欲しいと思ったものもマトモに与えられず、自身の個性でもある「カワイイ」ものが好き、女の子の格好がしたいなどの欲求は当然猛反対。
男なら男らしくしろと丸刈りにされた事もある。
小学生の頃から父親とは反発しあって過ごしてきたうえに苑が生まれると同時に母は用済みだと言わんばかりに離婚。
血のつながりのない家政婦が母替わりだったが愛情もクソも無く家にいる人間は大体嫌いだった。

そんな父親から逃げるように実の母とは月に数回程度会っていて
唯一自分の好きなことができる時間として楽しんでいた。
母親は別に苑のことは好きではないが可哀そうという哀れみだけで受け入れていた。
そんな経緯もあって長い間喧嘩を続け、跡を継ぐ気もなければなよなよした格好をしたがる口の悪い苑に愛想をつかし養子をとって跡を継がせることを決意し晴れて絶縁を言い渡され高校生になったと同時に母側へと引き取られた。

そこからは自分のやりたかったことをやるようになって今に至る。
「カワイイ」は正義でありそれ以外は興味なし。
正し別に女の子になりたいわけではなくあくまで「カワイイ」から女の子の恰好をしているだけ
「は？カワイイオレがカワイイ格好して何が悪いの？」スタンス。